慶應義塾大学医学部
ファミリーサポート室 vol.001

２０２６年
１１月１日発行

ファミサポ通信

創刊号

発行：慶應義塾大学医学部ファミリーサポート室（受託：NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ）
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35慶應義塾大学病院2号館10階 ファミリーサポート室
直通TEL:03-5363-3950(内線63060)(業務携帯内線67818) FAX:03-5363-3126(内線63059)
E-mail:family.support-group@keio.jp



「ファミサポ通信」創刊にあたって

慶應義塾大学医学部 ファミリーサポート室長
副医学部長 ・ 眼科学教室 教授　根岸 一乃

慶應義塾大学医学部ファミリーサポート室長ならびに本事業を担当する副学部長を務めております、根岸一乃でございます。このたび、本事業の取り組みや活動状況を皆様にお伝えする「ファミサポ通信」第1号を発行する運びとなりましたことを、大変嬉しく思っております。

現在、医療現場では医師の働き方改革が進められていますが、当直や緊急対応に加え、診療・研究・教育の両立が求められるなど、医師を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。特に子育て中の医師にとっては、子どもの急な病気や夜間・休日の保育など、既存のサービスだけでは対応が難しい場面も少なくありません。また、高額な費用負担が仕事と育児の両立を妨げ、離職やキャリアの継続を断念する一因ともなってきました。

こうした課題の解決に向け、このたび「慶應義塾大学医学部ファミリーサポート制度」を創設いたしました。本制度の大きな特徴は、常勤の医師・教員だけでなく、非常勤医師や大学院生、学部生も利用できることです。雇用形態や立場にかかわらず、育児と診療・研究・教育・学業の両立を支援し、誰もが安心してキャリアを継続できる環境づくりを目指しています。

本制度の運営は、大学病院における育児支援で豊富な実績を有するNPO法人「子育てネットワーク・ピッコロ」に委託いたしました。医療従事者特有の不規則な勤務形態への理解と、地域に根ざした支援活動の経験を生かし、安心して利用できる体制が築かれることを期待しております。

なお、本制度の創設にあたっては、関係部署の事務担当職員の皆様に、準備段階から多大なるご尽力をいただきました。皆様の献身的なご協力によって本制度が実現したことに、心より感謝申し上げます。

本制度は、子育て支援を必要とする「依頼会員」と、支援を担う「提供会員」をつなぐ相互援助の仕組みです。困ったときに気兼ねなく支援を求め、「助かった！」と感じられる環境を整えることで、皆様が安心してそれぞれの活動に取り組めるよう支えてまいります。

皆様のご理解と積極的なご利用・ご参加をお願い申し上げます。

ご挨拶

NPO法人 子育てネットワーク・ピッコロ
理事長　小俣 みどり



このたび、慶應義塾大学医学部ファミリーサポート室の運営を担わせていただくことになりました、NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長の小俣みどりです。

当法人は、「預かる理由は問わない」「困ったときはすぐに手をさしのべる」という2つの方針を掲げ、家庭訪問型の一時預かりから活動を始めました。東京都清瀬市を拠点に地域に根ざした支援を続け、2027年1月には発足30年を迎えます。この間、ファミリー・サポート・センター事業をはじめ、さまざまな家事・育児支援を展開し、「家族まるごと支援」を目指してまいりました。

長年培ったノウハウを最大限に生かし、皆様がお互いに安心して支え合える、温かいファミリーサポート室をつくってまいります。

そのためには、提供会員・依頼会員の皆様のご理解とご協力が不可欠です。ぜひコーディネーターとともに、このファミリーサポート室を一緒に支えていただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2027年1月12日(火)より
第１期保育サービス講習会を開催します

日時：2027年1月12日(火)～2月2日(火)
会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス内会議室他



サポート活動を支えてくださる、『第1期 提供会員』を募集しています！活動前に、子どもの安全や発達についてしっかり学び、安心してサポートに入っていただけます。講師陣には、慶應義塾大学の教職員の方々もいらっしゃいます！「育児がひと段落したから地域に貢献したい」、「子育て経験はないけれど、子どもが大好き」という方が皆さんの身近にいらっしゃいましたら、お誘いいただけましたら幸いです。ポスター・チラシの配布・掲示用にもファミサポ室からお送りいたしますので、お知らせください。

日	時間	内容	講師		会場	備考(テキスト『保育サポート4』参考章)
2027年1月12日(火)	13:00開場	受付開始			①慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟2階 会議室2 ※	事業の説明および講習会の概要についてお伝えします。テキスト代(3,200円)をご持参ください。
	13:30-14:30	開校式 オリエンテーション	ファミリーサポート室コーディネーター			
	14:30-16:30	保育の心	小俣みどり氏	NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長 保育士		(1章)保育に必要な基本的な考え方や心構えについて学びます。
1月15日(金)	9:30-12:30	心の発達と保育者のかかわり	鈴木さやか氏	(社)発達協会 王子クリニック 言語聴覚士 公認心理士	①慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟4階 会議室4 ※	(2章)子どもを取り巻く社会環境の現状や、実践で活かせる適切な声かけ・関わり方を幅広く学べます。
	13:30-16:30	子どもの遊び	大森靖枝氏	うさぎの森企画 主宰		(10章)子どもにとっての「遊び」の重要性を理解し、大人も一緒に楽しみながら学べる関わり方を体験します。
1月19日(火)	10:00-12:00	身体の発達と病気	有光威志氏 中村俊一郎氏	慶應義塾大学 医学部 小児科医	①慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟2階 会議室2 ※	(4章)子どもの身体の発育状況、器官の成熟過程や生理機能および運動機能の発達について理解を深めます。
	13:00-16:00	事故と安全	小俣みどり氏	NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長 保育士		(6章)安全を最優先とし、子どもの事故防止や安全管理の基本と対策について学びます。
1月21日(木)	13:00-17:00	小児看護の基礎知識	小澤典子氏	慶應義塾大学 看護医療学部 小児看護学 講師		(5章)病気のお子さんを安全に預かる時の大切なポイントを学びます。
1月26日(火)	9:00-12:00 もしくは 13:00-16:00	普通救命講習	救命救急士	四谷消防署・東京防災救急協会	②四谷消防署	(7章)正しい応急手当や心肺蘇生・AEDの使い方を学びます。普通救命認定証を取得できます。動きやすい服装でお越しください。(申込時に午前・午後、ご希望の時間帯をお知らせください。)
1月28日(木)	10:00-12:00	障害のある子の預かりについて	鈴木さやか氏	(社)発達協会 王子クリニック 言語聴覚士 公認心理士	①慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟4階 会議室4 ※	(3章)発達の遅れやつまづきのある子どもへの適切な理解と円滑なコミュニケーション方法について学びます。
	13:00-16:00	子どもの栄養と食生活	吉田朋子氏	管理栄養士 NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村		(11章)「食」を通じた子どもの成長・発達について学び、離乳食・幼児食の基礎知識を習得します。
2月2日(火)	10:00-12:00	子どもの暮らしとケア	小俣みどり氏	NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長 保育士	①慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟3階 会議室3 ※	(9章)子どもの日常生活における具体的な支援について学びます。
	13:00-16:00	保育サービスを提供するために				(8、12、13章)児童虐待の影響、子育て環境の現状を把握し、実際の活動手順やルールについて学びます。(基本科目単位修得者には女性労働協会認定「修了証」を発行。全国共通基準カリキュラム。)
	16:30-17:00	修了式・修了書授与				

ファミサポ室メンバーのご紹介

コーディネーター
川島　麻央



皆さん、初めまして！
食べることが大好きで、玉子屋さんのお弁当を毎日楽しみにしています♪
もし、教職員ラウンジで見かけたら、お声がけください(^▽^)/

サブ・コーディネーター
岩井　奈緒子

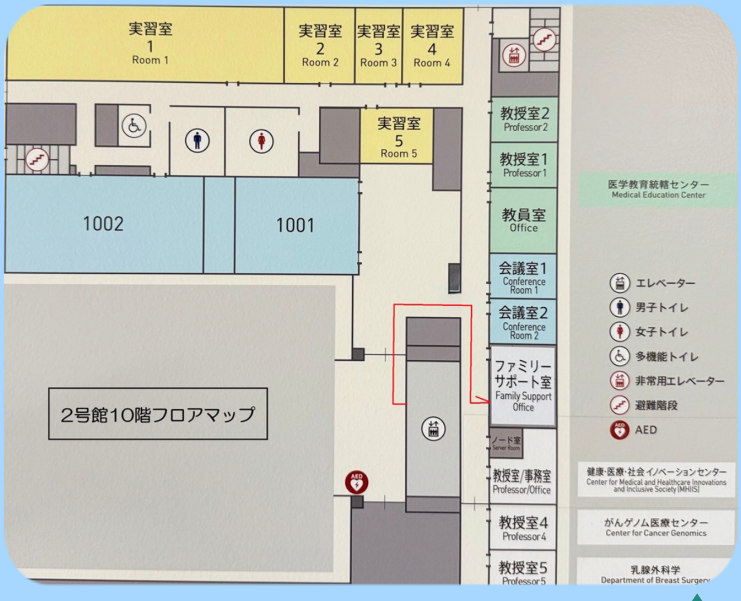


初めまして！
ドライブとDIY・手芸が趣味の２女の母です。

運転したり、ものづくりを楽しんだりする時間が大好きです♪
皆様よろしくおねがいします！

朝晩の冷え込みが進み、秋が深まってきました。
7月に開設したファミサポ室も、いよいよ講習会の開催、そして2月のサポート活動開始に向けて熱を帯びてきました。
皆様と一緒に、温かい子育ての輪を作っていける日を楽しみにしています。

※院外からのご来室はカードキーが必要です。事前にご連絡ください。



慶應義塾大学医学部ファミリーサポート室
直通TEL:03-5363-3950(内線63060)
(業務携帯内線67818)
FAX:03-5363-3126(内線63059)
E-mail:family.support-group@keio.jp

依頼会員・提供会員募集中！
ご登録お待ちしております。

